

2028ビジョン

期間：2017-2028

【めざす姿】「飯田の価値と魅力」を発信し学び合い、持続的な「未来を創造できる」ミュージアム

【重点目標】

- ①「伊那谷の自然と文化」の総合的なガイダンス機能を高め、地域の魅力を広く紹介します。
- ②「地域振興の知の拠点」の一翼を担うべく、「交易と交流」を視点に「飯田の価値と魅力」を探ります。
- ③多様な学びに学術的に応え、文化の創造と地育力の向上に寄与します。

方針

【調査研究】

- 飯田の価値と魅力を明らかにし、成果をまちづくりに生かせる調査研究
- 他の博物館、大学、地域の学校、地域団体と連携した共同研究
- 市民などと協働する調査研究の裾野拡大、調査研究活動の担い手育成

【資料収集保存】

- 伊那谷の自然と文化に関する特色あるコレクションの形成
- 伊那谷の自然と文化資料センターとしての機能向上、情報公開の充実
- 博物館資料や文化財などの地域資源の保存への対処、収蔵場所の確保

【展示公開】

- 伊那谷の自然と文化の特徴を紹介、飯田の価値と魅力を発信
- 歴史的ならびに新たな視点に基づく展覧会知性、感性を刺激し創造をもたらす展覧会
- 多様な展示方法の導入や展示解説の充実によるわかりやすく楽しめる展示

【教育普及】

- 市民の学びの多様化への対応と、学び合いの場としての機能向上
- 子どもへの学びや市民の文化活動につながる魅力的で質の高い学習プログラムの提供
- 学芸員の専門性、情報網を生かした他の教育研究機関等と連携した教育普及活動

【管理運営】
【学芸活動の体制】

基本プラン

期間：2025-2028

後期目標：飯田の価値の学びの一翼を担う教育普及活動及び資料センター活動の推進

【重点取組】

- 市民や各学術研究・教育機関との協働を拡充し、学びの多様化とまちづくりに応える取組
- 収蔵場所の確保に努め、博物館資料等の保存に努める
- デジタル技術を活用して、博物館資料の情報公開や展示、教育普及での発信力を強化
- 博物館活動を継続して行えるように施設や体制を整え、市民誰もが集い学ぶ開かれた場としての機能を高める

活動方針

【調査研究（テーマ）】

- 自：伊那谷の自然環境から見る飯田の多様性固有性
- 人：文化の回廊としての伊那谷の特質
- 美：菱田春草研究の拠点、伊那谷の芸術文化の特質
- 天：プラネタリウムの利活用に関する調査研究

【資料収集保存】

- 自：自然史資料、自然教育用基礎資料の充実
- 人：地域を学ぶ資料センター機能の充実
- 美：伊那谷の美術品、資料の収集保存
- 天：オリジナル番組の適切な保存

【展示公開】

- 自：身近に感じ理解できる伊那谷の自然
- 人：「文化の回廊としての伊那谷」の紹介
- 美：春草常設展示の充実と新たな創造力
- 天：天文宇宙に親しみ、学習する機会の提供

【教育普及】

- 自：自主教材や現地を利用した学び環境や防災教育に繋がる学び
- 人：様々なテーマから地域を学ぶ
- 美：芸術文化の振興に寄与する学び
- 天：観望会や講演会による天文宇宙教育

主な取組

- 自：エコ・ジオパークの基礎研究、南アルプスの特性を明らかにするための周辺研究
- 人：遠山郷および田中芳男を中心にした研究者との連携などによる調査研究
- 美：郷土作家・地域コレクションの調査研究、郷土の近現代美術の調査

- 共通：収蔵資料のデータベース化、関係機関連携による収蔵場所の確保
- 自：長谷川コレクションの利活用と管理
- 人：収蔵品のデータベース公開
- 美：収蔵品の整理、目録化、データベース化

- 自：「伊那谷の自然の特徴や魅力」を紹介する企画展示、遠山郷土館などでの展示
- 人：南信濃村・上村合併20周年、田中芳男没後110年など、節目に合わせた展示
- 美：地域の創造力を刺激し、発信する展覧会
- 天：子どもとともに天文宇宙を学べる番組

- 共通：子どもの学びや地域づくりに活かす教育の実践
- 自：エコ・ジオパーク、環境教育の普及支援
- 人：展示室での田中芳男の学習
- 美：複製画による出前鑑賞授業
- 天：親子で参加し天文に親しむ教育普及活動

【学芸活動の体制】

【管理運営】

【多様な主体との連携】